

【11月18日に小林市長に受賞の報告】



「令和2年度豊かなむらづくり農林水産大臣賞受賞」を祝して
理事長 篠田 猛雄
農林水産省主催の「令和2年度豊かなむらづくり」部門に於いて、大変励みとなる「農林水産大臣賞」を受賞しました。
受賞の背景には、NPO法人おおつきエコビレッジが、2005年の設立から現在に至るまで、再生活動や維持管理に参加した、歴代の会員、そして、地元の皆様や企業、山梨県、大月市などの行政機関、市内外の関連団体のご支援とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

当法人は、設立時に掲げた「人と花と実りの里」創りを「大月エコの里」で実現するため、30年間余り放置された里山の再生を図ってまいりました。春には景観を活かした「桜の名所」として市民の皆様が訪れています。
農園では幼稚園児、小中学生、大月短期大学の学生が体験実習の場として利用されています。
また、都市部の人々とは「ファミリー農園」を利用した交流を推進しています。



「大月エコの里」の活動経緯

更に、地元や市内外で開催されるイベントに参加して、地域の活性化に繋がる事業を図って今日に至っております。
これらの活動概要について授賞式の場にて事例の発表を行いました。
「大月エコの里」の発足から現在に至る活動について振り返ってみます。尚、写真は当時に撮影したものを使用しています。

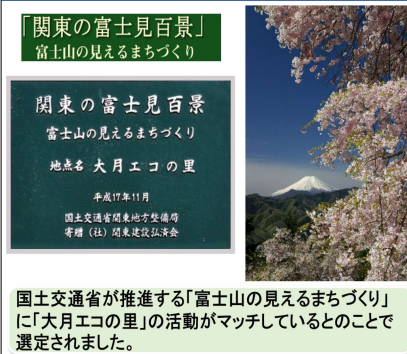
第20号(2版)
発行所
NPO法人おおつき
エコビレッジ
大月市富浜町鳥沢8948
電話: 0554-26-5160
ホームページ <http://www.econosato.org/>

里山の再生

当法人の設立当時、約30年間放置された農地は原野となっていました。重機で伐根した後、人力で根や小石を拾い集め農地に再生しました。



関東の富士見百景



大月市は宅地開発事業者から約10haの農地と山林の寄附を受けました。この土地を、大月市は「構造改革特別区域」として認定を受けて「大月エコの里」が誕生し、地元住民と協議をすすめて設立した当法人に貸付けてこの土地の有効活用を図ることにしました。



第1回植樹祭

「千本桜プロジェクト」には、延べ600人以上の皆様の協力の基に桜の景勝地創りを推進しています。自生していた桜を含めて、約850本となり、2005年の第1回に植樹した(次葉につづく)

【元理事長 佐々木利行様】

受賞に想う

農林水産大臣賞の受賞、誠にめでたくお祝い申し上げます。今日迄、エコの里の活動に関わられてきた会員はもとより関係各位の皆様と喜びを分かち合いたいと思います。顧みれば17年程前「エコの郷設立協議会」に参加し、長期間放置された山林原野の活用について、「産官学」等の代表の皆さんと夢や構想を語る中で、「国の特区法」を申請するに至り、NPO法人設立となったことが思い出されます。

以降、活動に参加する中で荒廃した里山を開墾し再生したり、拠点となる管理棟の移設や千本桜プロジェクトで桜の名所作り、大月短期大学の地域実習の取りまとめ等にも関わって来ました。

今はアグリパークとして地域交流の場となり、市内活性化の一助にもなつて来ていると思います。
この表彰を励みに活動を継続され発展するよう祈念しつつ、これからも微力ながらお手伝いする所存です。大変おめでとうございました。

【監事 峰岸 敏行様】

農林水産大臣賞受賞おめでとうございます。

これもNPOとしての16年間の活動による成果でしょう。それにしても長年手つかずの土地が今のような里山の光景になるとは感慨深いものがあります。立上げの時の皆様との出会い、その後の整備・活動が昨日のように思い出されます。

これからも管理棟を中心としてより一層の有効利用によるさまざまな新しい出会い、思い出の場の提供を期待しております。今年の椎茸、本当においしかったです！

【地域おこし協力隊員 長橋亮太】

2019年8月1日より、地域おこし協力隊員として「NPO法人おおつきエコビレッジ」で活動をしています。エコの里では、無農薬の小麦や小麦、サツマイモなどを栽培しそれらを販売しています。また、里山環境保護のために夏は草刈りをし、イノシシやシカなどの害獣が住み着かないようにしています。冬は山林の整備で伐採したナラやクヌギでシイタケの原木や薪などを作り、利用、販売をしています。
ご興味がある方は是非、お出掛け下さい。



NHKおはよう日本



軽トラ市

【元・前理事長 山田政文】

これまでご支援ご協力くださった皆様に感謝と衷心よりのお礼を申し上げます。

2005年にNPO法人としてスタートしましたが、その前年2004年より準備会を設立して以来17年の歳月が流れました。当時私は八王子市役所に勤務しながらNPO法人理事長を兼務して週末にはエコの里で汗を流していました。

17年間を振り返ってみると関わった多くの方々の顔が目に浮かんできます。大月市の活性化を目指し、その先進拠点になろうと会員一丸となって活動してきましたが、この間人口減少は進み、空き家は増加しています。

コロナ禍で大変な社会情勢ですが、地方への移住の動きもありますので、これからも関係諸団体、地域の皆様と連携しながら、地域の活性化に向けて取り組んで参ります。より一層のご指導とご支援をよろしくお願い申し上げます。

紙面の都合により、掲載できなかったメッセージをお寄せいただいた方々は次のとおりです。尚、文面は、ホームページに掲載させていただきますのでご覧下さい。

【前大月市議会議員 鈴木章司様】

【公益社団法人大月法人会 会長 細田幸次様】

【大月市商工会 会長 天野太文様】

【大月市観光協会 会長 米山義一様】

【大月市農業委員会 会長 坂本和彦様】

【大月市産業建設部 部長 坂本和彦様】

【大月短期大学教授 榎平龍宏様】

【デキユリオン株式会社 ビザアプランツ株式会社 代表取締役 宮本普史様】

【元副理事長 佐野光雄様】

【前副理事長 田中繁夫様】

ありがとうございます。

【編集後記】

ログハウスの管理棟「エコハウス」は標高およそ500m地点にあります。

冬は平地より寒さがきついで薪ストーブが大活躍します。薪は里内のナラ、クヌギです。SDGs環境に配慮した取り組みは発足当初からの理念です。そんなエコハウスで暖を取りながら来し方を振り返っています。

今号は、農林水産大臣賞受賞までの経過についてお知らせをすることが出来ました。

今後とも皆様のご意見ご提案をいただければ幸いです。

事務局長 山田行輝